

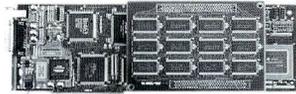
ハードとソフト

カスタム開発のKIT

ハード化すべきかソフトで実現すべきか、どちらがお奨め?というお問い合わせがよくあります。お答えできる事は、「実現したい機能と速度次第です。」。例えば、画像検査装置で、「不良品を後で解析したい。」と言う場合には、柔軟性があり、イニシャルコストの少ない「ソフトでの実現」をお奨めします。逆に1秒間に10個以上流れるラインでの外観検査等で、ラベリングなどの複雑な処理を要求される時は、ガチガチのハード処理をお奨めします。何を實現したいかを教えていただければ、手段を御提案するのが、KITの仕事です。

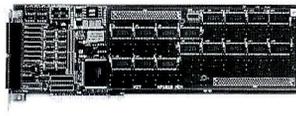
高速ハード

クロック80MHzの画像処理で変倍、スクロールを1フレームの遅れもなく実現できます。ソフトからは倍率指定するだけで実現できる様、グラフィックスプロセッサから生成されたアドレスをPLDで再演算してからVRAMに与えています。



ハードとソフト

大容量(384MByte)の画像データを高速(100MByte/SEC)で転送する為、メモリと転送部は専用ハードを開発し、空間フィルタ等の画像処理はソフトで処理する事でこのボードサイズに収める事ができました。



ソフトオンリー

2D/3D運動解析ソフト“EG-Stick”は、専用ハードを全く使わずソフトだけで実現しました。単なるビデオキャプチャーはとても安価になった為、かなりのパソコンに標準装備されています。それを利用して被検者の関節の動きを入力し2次元のワイヤーフレームを描画します。また絶対座標をデジタイジングする事により、カメラ定数を自動計算し、X、Y、Z空間からの2次元投影画像を表示できます。(このソフトのサンプル版は、弊社ホームページからダウンロード出来ます)



弊社の実績カタログを御用意しております。お気軽に御請求ください。

<http://www02.so-net.ne.jp/~kit/>

各社製品名は各社の商標または登録商標です。

Knowledge
Imaging
Technology

KIT

システム開発専門業社

株式会社

ケーアイテクノロジー

〒224-0032 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央19-1 タウンスクエア3階 TEL: 045 (949) 5331 (代) FAX: 045 (949) 5332